

住吉小学校の教育目標をご存じですか



H29. 9. 13

こんにちは。住吉小学校の坂井です。

突然ですが、全国の学校には、ほとんどすべての学校にありながら、多くの人からはあまり注目されないものがあります。その一つが、「教育目標」かもしれません。クイズのようになりますが、住吉小学校の教育目標は何でしょう。

2学期の始業式では、「2学期には多くの行事があります。行事でも、毎日の勉強でも、教育目標のことも思い出して、しっかりと取り組んでいきましょう」と話しました。

では、改めて住吉小学校の教育目標をご紹介します。

助け合い、進んで学習するたくましい子ども です。

この教育目標には、3つの要素（助け合う 進んで学習する たくましい）があります。この3つは互いに関わっていて、子どもたちの好ましい姿には、一つだけではなく複数の要素が見られるものととらえています。いずれにしろ、学校職員は、この教育目標を常に意識して指導にあたっています。子どもたちや保護者の皆様からも、住吉小学校の教育目標に関心をもっていただければありがたいです。

では、「助け合い、進んで学習するたくましい子ども」とは、具体的にどのような姿なのでしょう。目標として追い求めているようですが、すでに日々の学習や生活の中にその様子を見て取ることができます。そこで、これから何回かに分けて、子どもたちの実際の様子を写真等で見ていただきながら、住吉小学校の教育目標について一緒に考えていきたいと思います。（写真は、いずれも先週のものです。）



今回は一つ目の要素の「**助け合う**」を中心にお届けします。

①協力し合う

どのクラスでも、給食当番は力を合わせて準備をします。これは、2年生の様子です。先生の手を借りずに上手にできていたので、びっくりしました。（この写真だけは、今日のものです。）



②教え合う（音を合わせる）

これは、金曜日の授業参観で4年生の学習の一コマ、11月の音楽交歓会に向けて練習している様子です。教え合い音を合わせることも、助け合う姿です。



③一緒に挑戦する

朝、玄関前で、1年生の子どもたちがあいさつ運動をしている様子です。廊下に並び進んであいさつをすることは勇気がいることです。一人では難しいことも、友だちが一緒ならできますね。



④手を添える

2年生の図工の学習の様子です。一人の子が友だちの手を取って絵の具を混ぜているのです。聞いてみると、薄いオレンジ色の作り方を教えているとのこと。口だけではなく、手を添える姿に感心しました。



⑤なぐさめる

昼休みに1年生の廊下を歩いていると、泣いている子を抱き寄せて、なぐさめている姿に出会いました。お家の方にしてもらっていることを友だちにしてあげているのかな、とそのとき思いました。

「助け合う」からは、最初の写真の「協力し合う」や次の写真の「教え合う」、あるいは「困っている人を救う」という言葉を連想します。

でも、子どもたちの様子を見ていたら、③のように難しいことに一緒に取り組むことも助け合う姿であることに気づき、また、④や⑤のように、相手の近くで具体的に行動することの大切さを子どもたちから学びました。

当校は、開校初期のころより、人権教育、同和教育を大切にしております。互いを尊重し、学び合う関係を大切にする教育です。「助け合う」に通じる教育でもあります。

.....

先週には、授業参観後学年毎に懇談会が開催されました。写真は、1年生保護者と担任が懇談している様子です。もう1枚は、1学期末に設立された、「スーちゃんの本屋さん」（住小図書ボランティア活動）の様子です。これらの様子も、子どもたちの見本となる、「助け合う」姿かもしれません。大人同士が輪になって過ごす。尊重し合う関係の中で、おしゃべりし、情報交換し、ときには相談し合う。そして、そのことを楽しみ、学び合い、共に有意義な時間をつくる。



秋には、諸行事がたくさんあります。これからも、学校に足をお運びいただき、最高の教育環境である、「助け合う」を、一緒に創り上げていくことができれば幸いです。



今回は、教育目標の二つめの要素である、「進んで学習する」について考えてみたいと思います。